

平成29年度こども環境科学教室

日時：2017年9月9日（土）9:30～12:30
場所：多摩川河川敷（川崎市中原区等々力地先）
天候（最高気温）：晴れ（29.3℃）

テーマ：「川にすむ生きものを調べよう！（川崎市中流編）」
対象：小学生～中学生とその保護者
参加者：42名 こども（小学1年生～小学6年生）19名、おとな23名
講師：榎本正邦氏（環境研究者）
江良弘光氏（サイエンスグラフィックイラストレーター）

スケジュール：

時間	内容
9：15	受付開始（市民ミュージアム前）
9：30	市民ミュージアム前から移動
9：45	事務所前 着替え・準備など
10：00	開会のあいさつ・講師紹介 水辺の安全事項説明
10：15	魚とり 追い込み漁・ガサガサなど
11：15	魚とり 終了 まとめ
11：50	閉会 アンケート記入・着替えなど身支度 解散

内 容：

- 安全講習
 - ・もしおぼれてしまった時の対処方法について
 - ・川で活動するときの装備、ライフジャケットの着用について
- 準備
参加者の服装・装備（◎は貸出し）
◎ライフジャケット、◎タモ網、◎生き物を入れるビニール袋、
ウォーターシューズなどの靴（指先が守れるもの）、帽子、
濡れたりよごれてもいい服（長袖やアンダーウェア、スパッツなど肌が出ないような服）、飲み物
- 観察会
最初にビニール袋に半分ほど川の水を入れ、水を空気と混ぜるようによく振って曝気水をつくり、タモ網の使い方、魚を捕まえるときの注意点の説明を受け川に入りました。
川べりに並び講師が生き物を網の中へ追い立てて生き物を捕まえました。
- まとめ
参加者がつかまえた生きものについて説明しました。

今回観察した生きもの（採取した生きものについては、参加者は持って帰れません。）

- 甲殻類 モクズガニ、テナガエビ、アメリカザリガニ
- 魚 類 マルタ、ヌマチチブ、ギンブナ、クチボソ、ウナギ、
- 昆虫類 コヤマトンボ（ヤゴ）、オオシオカラトンボ（ヤゴ）



<参加者の感想> (一部抜粋)

- ・テレビで多摩川の水質がきれいになっていると聞いていたが、今日の講座で他の人がウナギをとっていたので本当に水質がきれいになっているのだと思った。(小6)
- ・ウナギやザリガニ、魚がとれたからたのしかった。(小2)
- ・魚がたくさんとれてうれしかった。(小2)
- ・多摩川に初めて入り、思いのほか透明度が高く生物が豊富なことに驚いた。(保護者)
- ・川がきれいで気持ちよかった。川の浅いところ、深いところ、危険さがあることが学べた。(保護者)
- ・自然環境について学ぶ良い機会であった。(保護者)